

【重要】アトムメディカル酸素ブレンダによるガス配管内の逆流現象に対する注意点

酸素ブレンダに接続された空気配管内に酸素が逆流し、他の医療機器の酸素濃度が高くなったという事例が学会に報告されました。

通常酸素ブレンダには供給するガスの酸素濃度の精度を保つため、酸素および空気の一部を常に器外放出させてブレンダ内の圧力バランスを取るブリード機能が付いています。ところが酸素ブレンダを酸素・空気ポンベに付けてポンベのバルブを開放したまま長期間放置すると酸素・空気残量の低下を招きます。

アトムメディカル株式会社製、蘇生装置I/II/III/IV(インファウオーマ用)に内蔵された酸素ブレンダ、および流量計付酸素ブレンダ単体品のOX-370は、混合ガスを投与していない場合の酸素および空気の消費を防ぐため「ブリード機能off」スイッチを使用することでブリード機能を停止することができます。

しかし、「ブリード機能off」とした場合、酸素と空気のガス供給圧が拮抗すると、稀に逆流防止弁に少量の漏れが生じ、中央配管内で酸素と空気の混合が起こることが確認され、酸素が混合された空気が他の医療機器に供給されるという事例が発生しました。この現象は酸素ブレンダから混合ガスを投与している場合には起こりません。

当該製品の中央配管内へのガス逆流による酸素と空気の混合を回避する対応策として、ブリード機能をONのままにする(「ブリードスイッチ」をONにする)ことを推奨します。

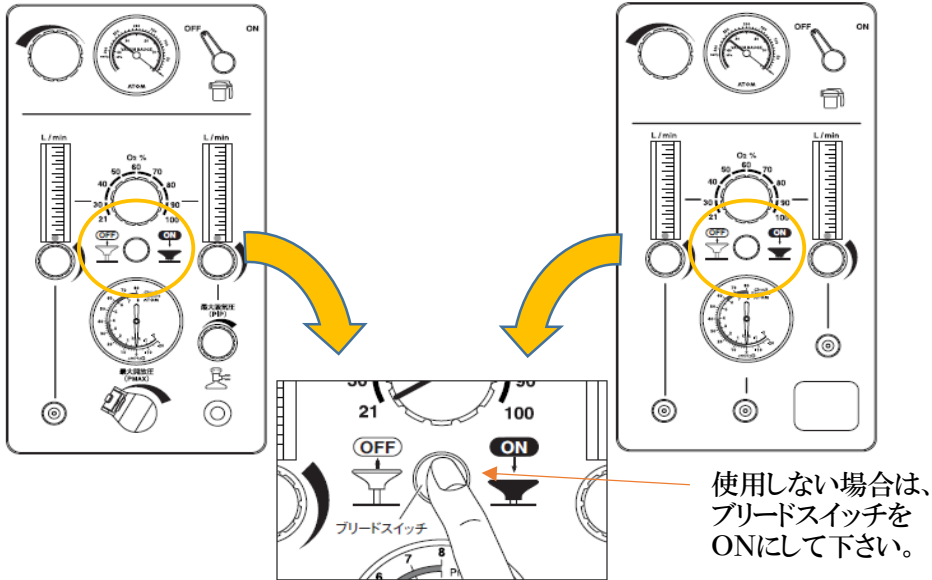
酸素・空気ポンベで使用の場合は、バルブを開いたままブリード機能をONのままにする(「ブリードスイッチ」をONにする)とポンベのガス容量が経時的に減ってしまうという危険もあるため、酸素ブレンダからガスを供給しない時は、バルブを締めて本品へのガス供給を遮断することを推奨します。

アトムメディカル株式会社
日本新生児成育医学会医療器材の安全性確認委員会

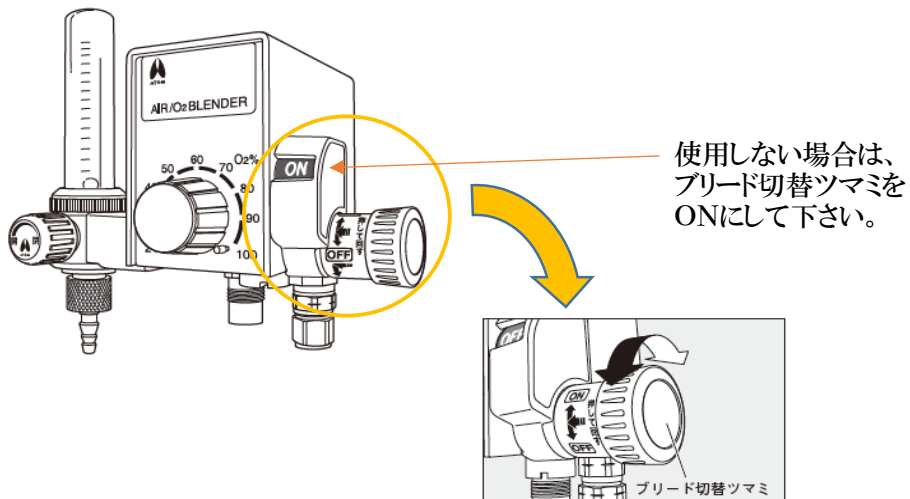
インファウーマi

蘇生装置 I / II

蘇生装置 III / IV



流量計付ブレндаOX-370



使用しない場合は、下記のいずれかの方法でガス供給を遮断して下さい。

- ◎ ブリードスイッチ(ブリード切替ツマミ)をONにする。
- ◎ 接続ホース(パイピングホース)を外す。
- ◎ 酸素ポンペ使用時は、ポンペのバルブを締める。